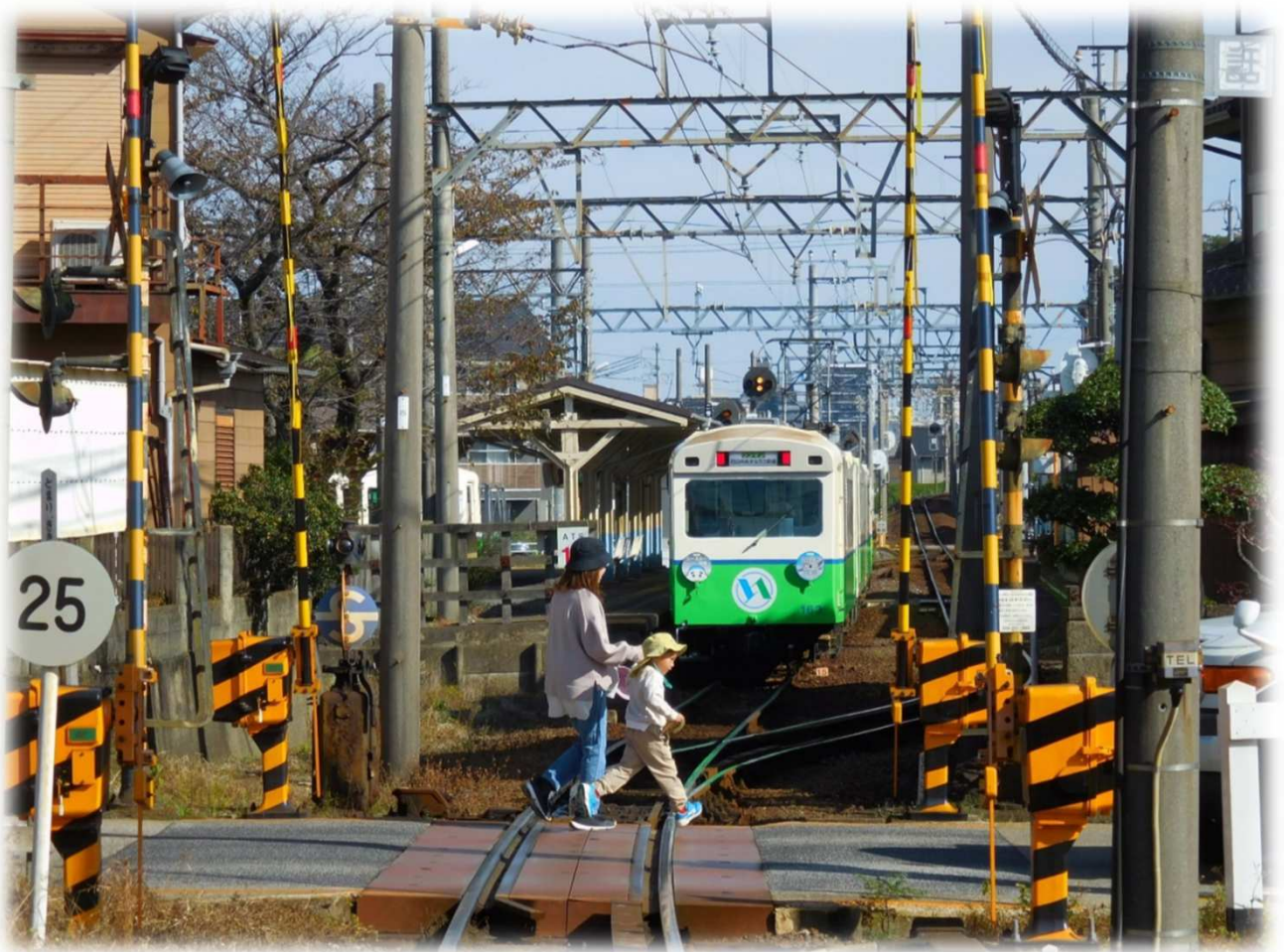


要望書

四日市あすなろう鉄道について



令和5年度フォトコンテスト大賞作品

令和6年7月

四日市市

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

「四日市あすなろう鉄道」は、平成27年4月1日より公有民営方式で運行を開始し、10年目を迎えました。

令和6年度も法令で定められた車両の検査をはじめとした安全運行に欠くことのできない施設更新に必要な予算を要望通り配分いただいたことから、安定した運行や一層の利用者へのサービス向上を、引き続き、実現できることとなりましたことを大変感謝しております。

本市では、国の支援のもと、車両やホームの改修をはじめとする施設の更新や修繕など、利用環境の改善を進めさせていただいている中で、沿線の住民や学生などにより、四日市あすなろう鉄道を応援する様々な活動が実施されています。

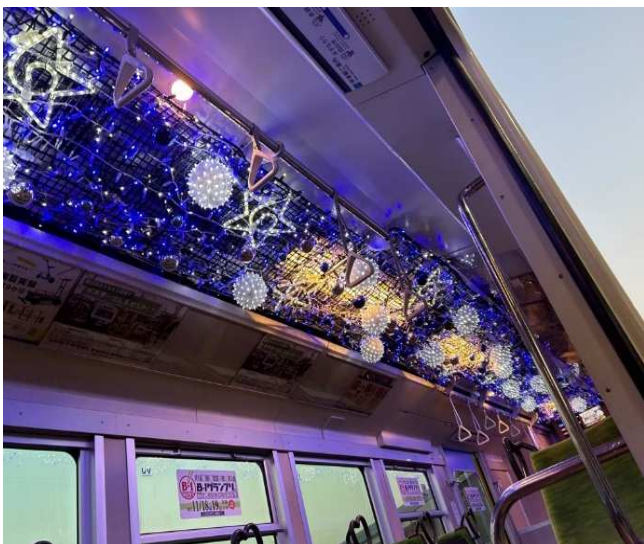
例えば、令和5年度には市民主体による四日市あすなろう鉄道を活用したまちづくり事業としてロゲイニングイベントを実施し、沿線高校の生徒たちに協力いただくなど、市民・行政・事業者が一体となり鉄道を盛り上げており、地域と鉄道との距離が縮まり、住民や利用者の鉄道に対する愛着も増していると実感しております。

「四日市あすなろう鉄道」は、地域から愛され、通学や通勤に必要不可欠な公共交通であり、サービスの維持・向上及び安全性を確保し、路線の維持を図るため、令和7年4月からを計画期間とした新たな「再構築実施計画」の策定を進めています。

つきましては、新たな計画に基づき、引き続き施設の更新が必要であるため、右記の通り強く要望いたします。

- 令和7年度も法令で定められた車両の検査をはじめとした安全運行に欠くことのできない施設更新に向け、引き続きこれまでと同等の財政支援措置をお願いします。
- 車両の法定点検や修繕を行う唯一の施設である内部車庫の老朽化に伴う更新や機器の購入など、現制度における補助対象外事業についても、補助の対象となるよう制度の拡充をお願いします。

令和 6年 7月
四日市市長 森 智広



イルミネーション列車
(令和5年11月～令和6年2月)



沿線高校協力によるロゲイニングイベント
(令和6年2月)



内部車庫を活用したお仕事体験
(令和6年5月)



ボランティアによる駅の美化活動